

第2回山縣市総合計画審議会
第10回山縣市まち・ひと・しごと創生会議 会議録（要点筆記）

- 【日時】 令和元年10月11日（金）15:00～16:30
- 【場所】 山縣市役所3階大会議室
- 【出席】 山縣市総合計画審議会委員
- 会長 竹内 治彦 岐阜協立大学 学長
- 委員 田上 隆 市自治会連合会代表
- 宇野 睦 市商工会 会長
- 丹羽 英之 市社会福祉協議会 会長
- 川田八重子 山縣市教育委員会
- 古川 雅一 議会代表（総務産業建設委員長）
- 加藤 裕章 議会代表（厚生文教委員長）
- 佐野恵津子 山縣市農業委員会（市民代表）
- 尾関 律子 NPOどんぐり会（市民代表）
- 神谷 博 公募（市民代表）

まち・ひと・しごと創生会議委員

- 会長 竹内 治彦 岐阜協立大学 学長
- 委員 田上 隆 市自治会連合会代表
- 宇野 睦 市商工会 会長
- 福地 克也 JA岐阜 高富支店長
- 早川 徹 (株)水生活製作所 代表取締役社長
- 河村 一彦 市校長会代表
- 加納 康成 十六銀行高富支店長
- 大竹 裕幸 大垣共立銀行高富支店長
- 浅井 一智 岐阜信用金庫高富支店長
- 小倉 誠 岐阜公共職業安定所 雇用開発部長
- 木村 麻理 社会保険労務士
- 松浦 健司 岐阜新聞社 本巢支局長
- 下條 大樹 中日新聞社 記者
- 白井 浩美 岐北厚生病院 事務局長
- 丹羽 英之 市社会福祉協議会 会長
- 武藤 行儀 代理出席（相宮一夫）岐阜乗合自動車（株）代表取締役専務
- 今瀬 義幸 元岐阜県職員
- 宇野 邦朗 副市長

事務局

浅井 聡 地方創生監
奥田英彦 理事兼企画財政課長
長野健一 まちづくり・企業支援課長
武藤達也 企画財政課主幹
梅田寛之 企画財政課主査
棚村湧太 企画財政課主事
市人口ビジョン作成受託事業者 (株) 十六総合研究所

【欠席】 副会長 黒見敏丈 岐阜女子大学 教授

【次第】 1. あいさつ
2. 議事
(1)次期総合計画・総合戦略の策定の承認について
(2)次期総合計画・総合戦略の骨子の承認について
人口ビジョン等 事務局案 別冊
3. 質疑

【資料】 資料5 次期総合計画・総合戦略の策定の承認について
資料6 次期総合計画・総合戦略の骨子の承認について

【追加資料】・数値目標と重要業務評価指標（K P I）の達成状況
・事務局原案 人口ビジョン（素案）
・資料1 まち・ひと・しごと創生基本方針2019について

■ 事務連絡

当日資料配布について報告
委員の交代、代理出席、欠席委員について報告

■ 会長あいさつ

- 会長 出席委員が過半数に達しているため、山縣市総合計画審議会条例第6条第2項の規定により、開催要件を満たしています。
- また、山縣市まち・ひと・しごと創生会議設置要綱第7条第2項の規定により、開催要件を満たしています。

【議事】

会 長 議案について、事務局に説明を求めます。

事務局 追加資料3種類配布

次期総合計画・総合戦略の策定の承認について説明（資料番号5）
5ページまで説明。

○会長 ここまでで質問がありますか。
資料5 3ページについて、目標がかかっているか、事実が書かれているのか。

事務局 事実が書かれている。

○会長 右側は現状と書けばよかったのでは。このままの資料だと改訂後の人口ビジョンが現状のままということになり、それでいいのかといったことになる。人口ビジョンの記述の多くの部分が現状についての記載になるのは、理解ができる。しかし、違和感を持っているのは、ビジョンなのか現状であるのかということ。現状＝ビジョンであるなら会議の意味はない。また、現状は大切だが、ビジョンとイコールではない。現状は現状で踏まえる。現状＝ビジョンではダメ。資料5 3ページについては、すべて現状として考えさせていただく。現状とビジョンの差異をどのようにしていくか、この後の部分で説明があると思われるため、それをまず聞く。

事務局 次期総合計画・総合戦略の策定の承認について説明（資料番号5）
6～12ページまでの説明。

○会長 案①、案②の違いは、転入数と転出数を均衡させるの時期をいつまでに行うかの違い。（案①では2040年、案②では2030年までであり10年違う）。合計特殊出生率の条件は共に同じ。
合計特殊出生率の目標も、転入数と転出数の均衡をさせるのも、計画の先にある話、そこを目的とした話であるため、12ページのようにどちらの数値がよいかで判断するのではなく、10、11ページのように、どちらのシュミレーションを選びますかということ。事務局としては、案②でどうかという提案であると思われる。

事務局 2060年に向けた将来展望の区切りとして、12ページの2023年の目標人口があると考えている。そのため、県の人口ビジョンに準拠する案①、10年前倒しした案②、もしくは、切りのいい数字としても…。

○会長 目標人口について、案①、案②、はたまた、切りのいい数値かとなるが、切りのいい数字と言うのはいかなものか。ずっとビジョンのため、数値を検討しているのに、ビジョン目標だけ切りのいい数字としてしまっただけでは全体の整合性につかないのでは。

- 事務局 切りのいい数字と言うのは、撤回します。
- 委員 B 現在の山口市合計特殊出生率は、いくつになるのか。
- 事務局 1.27であり、県内最下位を脱したが数値は減少。
- 委員 B 岐阜県は1.4くらいである。合計特殊出生率が1.80や2.07だとすこし高いが、変更するという考えはあったか。
- 事務局 県、国のビジョンでは、2030年が1.80、2040年2.07を前提条件として考えているため、1.80を1.40にするなど、現実路線でいくこともやぶさかではないが、国、県が理想に向かってビジョンを策定して進んでいこうという中で、市だけ現実路線を進むのはどうなのかと思う。先日行った本部会議でも、合計特殊出生率が高すぎるのではないかと、無理ではないかと言った意見があった。現実としては、大変厳しい前提条件を掲げていることは十分承知している。
- 委員 B 現実を分かった上ではあるが、2030年に1.80の数値には希望があると思う。改訂後の部分で、30～34歳の未婚率が37.4から34.9に下がっている。また、結婚相談所の相談件数も増えてきている。1.80が完全に理想と言われればそうではない。結婚だけでなく移住定住施策も考えていき、現実的に取り組んでいけば、達成できるのでは。
- 会長 行政の立場としては、実現の可能性をある程度踏まえた上で、前提条件が1.80の数値であることは仕方ないかと思う。ビジョン計画の案15ページを見ると、合計特殊出生率については厳しい数値が並んでいる。しかし、近年はやや上がってきているのでは。一方で、今後国等の合計特殊出生率はさがっていく。なぜなら団塊ジュニアの人たちが40代になっており、今後しばらくは下がり続ける。今回の目標は、2030年に向けての目標であるため、今から下げるわけにはいかない。2.07は置換水準であるためちょっと難しいかと思うが、2040年に向けての目標であるため、現段階としてはこのままいくのべきかと思う。この目標を著しく下げることはむずかしいのではないか。
- 委員 C 1時間くらいこれで議論をしているが、目標人口は定めなければいけないのか

会長 定める事になっている。

○委員C 定める必要があるなら、達成見込があればいいが、中小企業の立場からいうと大企業がこうだから、その目標でいくという感覚に聞こえる。国、県、他の市町村とは人の割合等が全く違うわけであり、これを目標にして進むのであれば、それなりの数字を挙げるべきであると思うし、ある意味そういう形で機械的に掲げなければいけないのであれば、申し訳ないが1時間近く議論するのではなく機械的に決めればよいのではないかと思う。乱暴かもしれないが、目標として掲げるのであれば、それなりの数値を上げるべき。

○会長 国、県の物を単純に下ろすのであれば議論する必要はない。今回長くなったのは、背景の技術的説明が長くなってしまったところに私が絡んでしまったため時間を多くとってしまった。今回の論点は、転出入者を均衡させることについて、県水準にするのか、それとも、県水準を10年前倒しにする目標とするのかということだけであり、このことを理解するのに多くの時間を費やしたと考えて欲しい。

今回の市の提案は、さまざま踏まえたが、基本的には県プランに沿うが、県プランのままよりも、転出入者を10年前倒して均衡にするプランを作りたいがそれでいかがでしょうか、これをご承認いただけるかということ。

○委員D 転出入をゼロにしたいと言うことですが、その資料は何処にあるのか。

事務局 事務局原案 人口ビジョン（素案）、19ページをご覧ください。

図表21 紫バー、転入転出数及び社会増減の推移について、説明するが、2011年～2015年は合計1028人超過、2016年～2018年は合計332人超過になっており、これをそれぞれ年平均であらわすと、2011年～2015年では、年間約205人減少しており、2016年～2018年では、年間約110人に転出超過が減っている。

ここ3年間だけを捉えて比較すると転出超過数が半減していることが分かる。2016年は今から4年前であるが、ちょうど地方創生交付金の活用が始まった年に合致するように、社会増減が減少している。そのため、案②のように県水準を10年前倒しして、転出転入者の均衡を図ることが決して無理ではないと考えている。

○会長 転出転入者が明らかになっている非常に分かりやすい図である。2014年が251人であるのに対して、毎年約50人ずつ減少している。この傾向だけで見れば、2030年に均衡図ることが可能に思えるため、県水準から10年早い、2030年までに社会増減の均衡を図るとしてもいいのでは。

順調に転出超過は、少なくなっていることから、今回の提案としては、転出入者を案2のとおり、4年後に人口を24,871人とするということで承認いただけますでしょうか。

○委員 (異議無し)

事務局 次期総合計画・総合戦略の策定の承認について説明 (資料番号5)
13ページから。

次期総合計画・総合戦略の骨子の承認について説明 (資料番号6)

○会長 骨子の中身すべてを承認するものではないと思うため、資料5 13ページから、目指すべき将来の方向性案①安心して結婚し、子育てができる環境整備、②魅力向上・シティプロモーションの取組深化、③市内で安心して働き続けられるための企業支援、ということをも3つの大きな柱として据えたいということについて、意見がありますか。

委員B 総合計画を見ながら聞いていたが、結婚という観点は、総合計画の中にも入っていない状況。また、これまでの計画をみてもその部分は抜け落ちていると考えている。さらに、事業はやっているが、議論の場が抜け落ちていると思っていた。

移住定住についても個別の計画で落としこんでいくなど将来考えているのか。もしくは、この総合計画が総合戦略と一体となった場合でももう少し細かい施策まで落としこんでいくのであれば、骨子に据えることは賛成である。

○会長 具体的については、この場では議論しないため、後ほど事務局等へ提案していただければと思う。方向性が3つ示されているが、この3つについて承認いただけるかの議論にしていきたい。その点から考えると、委員Bの意見は結婚と言うことにフォーカスされていて、事務局案としては入れていくと言っているため、賛成として受けとめる。

資料5 16ページ目について、新規施策の3番目、東京圏からの移住について、あまり規模に期待ができないため、総合計画としての効果もあまり期待できないものと考えられるため、総合計画としてここに入っていると非常に違和感がある。置きどころは検討して欲しい。

これで案①、②、③について承認いただけるか。

○委員 (異議無し)

- 会長 資料6について細かく議論する事はここでは、難しいと思うため、ご承認いただいた3つの柱を軸に、枠組みを大きく抑えていただいて、これより細かい部分については、会議の場と言うよりは、事前に事務局まで意見いただいて調整いただければと思うがよろしいか。
- 委員 (異議無し)
- 会長 事務局もよろしいか
- 事務局 (異議無し)
- 会長 そういうことで進めていただいて、次回については、資料6がかたまった形で提案いただけるということで、すすめていただければと思う。
- 事務局 次回のスケジュールについて、日程的にタイトになったため、資料5 17ページのとおり、第3回審議会、創生会議の合同会議を11月中旬に行いたいと考えています。12月は未定ですが、第4回審議会、創生会議を行い、1月の1ヶ月間でパブリックコメントを行いたいと思います。そのため12月の会議では、素案がかっちりと決まっている状態にしたいと思います。日程調整が大変と思いますがお願いします。
- 会長 全体として質問があればお伺いします。
- 委員E 市民調査の中で、外国人の記載があったためお聞きするが、外国人の居住者は増えつつあるのか。
- 事務局 増えつつあるが、600人ほど住民登録がある。
- 委員E 今後更に増える可能性があるのでしょうか
- 事務局 このところは微増である。
- 委員E 山県市に企業が多くあるが、そちらで働いている方は何人ほどいるのか。まち・ひと・しごとということで、人口として捉えていくのであれば、外国人も人口として捉える必要があるのではないかと。外国の方はずっと定住するわけではないと思うため、外国人をこういった場で議論することではないのかもしれませんが、発言させていただきました。

- 会長 関係の方でもし資料をおもちのかたがいれば。
- 委員F 商工会で預かっている企業で言えば、200人近くは労働していることを把握している。残りは商工会以外ということになるが、どこも労働者不足であるため、人手不足であるため外国人を雇いたいといった相談はある。そのため、外国人はまだ増えていくのではないかと予測している。
- 会長 詳しい統計データが必要でしたら、また次回ということで。
現状の山県市の分布の中で、どれくらい外国人にフォーカスするのか。美濃加茂市だと人口の10%ほどであるため、施策は必要であるが、山県市でどうしていくかは、事務局で検討いただければ。

以上で会議を終了いたします。

――― その他の連絡等 閉会 16:30 ―――